

第4回岩出市上水道事業運営審議会

議事概要

1. 日 時 平成28年1月14日(木) 13時30分から15時35分
2. 場 所 岩出市中央公民館 2階 第1会議室
3. 出席者 会長他委員9名、事務局7名
4. 議 題
 - (1) 前回議事概要の報告について
 - (2) 水道事業ビジョン(最終案)について
 - (3) 上水道事業運営審議会答申(案)について
5. 会議形式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開会

会 長 挨拶

- (1) 前回議事概要の報告について
- (2) 水道事業ビジョン(最終案)について
- (3) 上水道事業運営審議会答申(案)について

(説明終了)

主な質疑応答

- 質疑** 前回のビジョン（案）との変更点について質問します。
- 3－4ページの3. 2水道施設の概要の図ですが前回より見やすく文字も大きくなっていますが、下の凡例の赤四角が施設で赤丸がポンプ所と分かるのですが、凡例に赤四角の施設名称、赤丸のポンプ名称を追加してください。
- 事務局** ご指摘いただいた点については、修正させていただきます。
- 質疑** 3－5ページに1号、2号、3号、4号取水井がありますが、番号順ですが1号・2号・3号・4号の1号取水井が平成9年で2号取水井が昭和50年になっているのは何故ですか。
- 事務局** 直径60cmの旧1号取水井がありましたが、それを廃止し、改めて、平成9年度に1号取水井として建設したため、このような順番になっています。
- 質疑** 4－11ページ、前回4－12ページになりますが、(4)の給水方式の直結式が3階から2階になっているが岩出市は全域で2階給水が可能ですか。
- 事務局** 市全域で2階給水のできる水圧があります。
- 質疑** 7－9ページ、前回7－8ページで具体的施策の中で、「滞在型の避難所や基幹病院などには応急給水栓」と「消火栓などを利用した臨時の応急給水」とはどんなものですか。
- 事務局** 形態的には、給水車の後ろについている蛇口の付いた器具です。
消火栓に差して使用する複数の蛇口が付いた器具です。
- 質疑** 応急給水栓の表現をやめ、応急給水設備に修正してください。
- 事務局** 修正いたします。
- 質疑** 3－4ページから3－8ページで一般の方にはわかりづらいので岩出市の特徴の浅層地下水、緩速ろ過方式を使っていることと第二浄水場からは滅菌のみで水を送っているという文章の追加を検討してください。また、書式やフォントや用語も追加して欲しいところがありますので検討してください。
- 事務局** 検討いたします。
- 質疑** 2－9ページから2－11ページでは、南海トラフ地震の被害を想定していますが、7－10災害対策マニュアルの整備で具体的な施策とかが載っていますが、南海トラフ地震以外に想定されそうな地震があるのか無いのか。もし、あるとすれば南海トラフ地震とあわせて載せる必要がないのか。
- 事務局** 中央構造線など複数あるのですが、もっとも岩出市で被害が大きい東海・東南海・南海3連動地震を記載させていただいています。
- 質疑** 今更なのですが、最終的に水道ビジョンは、誰を対象に作っているのですか。
- 事務局** 基本は、事業者（岩出市）がどういう方向に進めていくかの指針となります。
市民の皆様公表し、市のウェブサイトでは、わかりやすい内容の抜粋版を載せるスタイルになると思います。

質疑 答申(案)の2ページの②の有収率及び漏水率についての中で平成24年度が12.0%とありますが、ビジョンの中の4-3では、12.3%になっているのは何故ですか。

事務局 この部分については、最新のデータを載せる等検討します。

質疑 全国平均値2.8%は(平成24年度)を入れてください。

事務局 わかりました。

質疑 技術の継承の中で、職員数が不足していると聞こえるのですが、なぜこのようになったのか。

事務局 職員定数は現在、条例で定められており、それに基づいて職員の配置をしていますが、職員の中には経験年数の短い人もいますし、経験年数の多い人が退職してしまうと、あとを引き継ぐ人がいなくなり、若手の人材の育成とか技術を後輩に継承させていく考えにさせてもらいました。

質疑 岩出市では、別組織で水道局をつくるという案はありますか。

事務局 和歌山市とか大都市については、水道局は市役所と別組織で局単独で職員を採用する方法になっていますが、それ以外の中小規模の自治体では、市役所の中で組織化されているのが現状で、専門的知識とか経験年数を要するとかいうのは、人事異動の中で考えていただきたいとの申し出をしていきたいと思います。

15人の規模を別組織で採用して、運用していくということはないと思いますが、将来的には職員定数も変更していかなければならないと思います。

質疑 漏水の件ですが、県道と市道に水道管を入れるのに違いはあるのか。

事務局 違いはありません。

質疑 答申(案)の4ページの③に管路の事故状況で全国的に比べて幹線管路事故が多いのですか。

事務局 ビジョンの4-13ページに載せています。

質疑 どんな事故がありましたか。

事務局 送水管の漏水もありました。

質疑 答申の項目を水道ビジョンと合わすようにお願いします。

事務局 そのようにします。

質疑 平成32年までに53,637人になり、あと5年しかないのですが、そこから人口が減ることなので、人口が増える時に岩出市の水は水道料金が安くて、おいしくて安全であるとアピールしてみたらと思うのですが。

事務局 わたくし共もキャッチフレーズでも議会の答弁でも岩出の水は安全でおいしい水の安定供給というテーマをあげていますので、安全な水の供給と書いていますので安全でおいしい水の一語を入れるのは、問題はありません。

質疑 おいしい水、安全な水と言っていますが、今すぐく水に対する意識が高まっており、テレビを見ていると、水道水こんな水飲んだらダメとか、塩素が悪いとか、塩素が体

に溜まってということで水を買うのですが、それでは給水収益の悪化につながり、2万世帯で何億という損失金額になります。

また、トリハロメタンというのは、ものすごく有害で、煮沸してもだめと聞いているのですが。

事務局 原水に含まれる有機物が少ないため、塩素を入れる量が少量ですむので、トリハロメタンは数値に表れておりません。

また、トリハロメタンの検査も行っていて、水質検査の結果を岩出市のウェブサイトに乗せています。

- まとめ
- ①水道事業ビジョン（最終案）の一部文言等の修正を行う。
 - ②上水道事業運営審議会答申（案）の項目の表現を水道事業ビジョンと合わせ、一部文言の修正を行う。
 - ③後日、上水道事業運営審議会答申を市長に提出する。